

謹賀新年



未来に向かって前進



町長
福島 世二

町民の皆さん、明けましておめでとうございます。平成26年の初春を健やかに迎えられたことと思います。私も町政のかじ取りを担い、はや2期目の最終年を迎えました。年頭に当たり、この一年、決意を新たにしているところです。さて、今年は大きな佳節を迎えることがあります。スイス・サンモリッツと姉妹都市提携を

活力あるまちづくりを 町民とともに



町議会議長
鈴木 保昭

新年おめでとうございます。皆様にはご健勝にて、平成26年の新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また日頃は俱知安町議会に對しご理解とご協力賜り深く感謝を申し上げます。振り返ってみますと、昨年、激動の一年でした。三年ぶりに政権が代わり国民の負託に応え

結び、50年の節目となることです。

提携した昭和39年当時、海外都市と姉妹都市を結んでいた道内市町村は、札幌市と旭川市だけのころです。俱知安町百年史（中巻）をひも解くと、当時の高橋清吉町長の大胆さと、その行動力に目を見張ります。古くから「東洋のサンモリッツ」と評される当地域にあつて、この提携は名実ともに「姉妹の縁」を結んだ証となつたといえましょう。

いまや海外から多くのお客様が訪れる国際リゾート地へ変貌を遂げる俱知安町にあつて、半世紀を経て、改めて世界屈指のリゾート地、サンモリッツから学び、次なる百年へさらなる友好を約し合う、そんな一年になろうと考えているところです。

交通インフラでは、平成47年開通を目指す、北海道新幹線の札幌延伸事業と併せて、早期着工に向け重要な時期を迎えている、北海道横断

停滞してきた国力の回復をはじめとして、内外共に抱えている諸課題に、更に果敢に立ち向かつて頂くことを期待を致しております。

しかし、消費税をはじめとする税制改革など地方行政にとってはいささか厳しいものがあり、私たちの頭上に厚く覆う暗雲は、景気の前行きが不透明なことです。

新幹線や高速道路など観光を基幹とする町にとつて嬉しい話題もありますが、いずれにしても長いスパンで考えなければならぬ事であり、現実的に給食センターや保育所、耐震性のない役場の問題など財政を鑑みながら早期に解決していかなければならない課題はたくさんあります。その課題に對し議会の立場で皆さんの声を広く反映して、町民総参加で町づくりに努めていきますので、どうか忌憚のない皆さんの声を議会にお届けください。

昨年皆様にお約束をした議会改革も全議員が

自動車道・黒松内―余市間の整備は将来的に大きく「まちの姿」を変えようとしています。このような中、「新幹線まちづくりワークショップ」として、町民全体の構想づくりが進んでいます。ニセコ地域を広域的な「観光圏」として振興を図る取り組みや、持続可能な国際リゾート地へと基盤を整える取り組みです。

一方、身近な課題として、豪雪の町としての冬期間の雪との戦いです。行政としてもできる限りの努力を致しますが、地域で支え合う町内会単位の「除雪ボランティア」の輪のご協力も尚一層お願い致します。

今後とも、皆さんとともに知恵を出し合い、実際に描き、行動に移す姿で町運営を行いたいと考えております。

結びに町民の皆さまが健康で幸せな1年になりますことを心から祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

一丸となって進めています。同時にスピード感のある役場を目指して行政改革、視点を町民においた役場改革を議会としても強く進めてまいります。

国際リゾートとしてスイスのサンモリッツと姉妹都市を結んで今年で50周年を迎えます。俱知安は観光都市として世界から注目され、先駆地であるサンモリッツから多くの事を学び劇的に俱知安は地域力を増加させました。経済的、文化的効果は測り知れません。町民も企業もこれを機会と捉えて、積極的に飛躍して行くべきみんなで力を合わせて進みたいものです。

町民が抱えるさまざまな課題に素早く対応していくためには、町議会も自らの改革を進めていきます。これまで以上に機能する町議会をめざして、議長として、努力する決意を述べ、新年の挨拶とさせていただきます。